



輝け！中央っ子

校訓（やさしく かしこく たくましく） 令和4年3月17日（木）

今年度のテーマ （好きです 中央！）

16号（文責）山口 公敏

【学校教育目標】

あいさつ、そうじ、発表 そして笑顔 一人ひとりを大切にする 強くやさしい 中央っ子の育成



2日（水）に送別遠足を行いました。今年度は6年生のみ体育館に待機し、各学年の代表児童による送別のメッセージを送りました。下級生のスピーチに感動したと思います。6年生の返しの言葉も、卒業式に参加しない在校生の心に届いたと思います。今までありがとう6年生。



4日（金）に最後の授業参観・懇談会を行いました。当日は、コロナ禍、オンライン配信も行ったので、たくさんの保護者の方に児童の成長を見ていただきました。行事の運営が難しい中、開催できたことに感謝いたします。本当に一年間大変お世話になりました。



来週24日（木）は卒業式です。在校生不在の卒業式ですが、卒業生には一生の思い出となるような卒業式にしたいと思っています。卒業生の皆さん、あと少しです。体調を整えて思い出に残る卒業式にしましょう。在校生の皆さんの思いも当日ビデオで卒業生へ届けたいと思います。

何の匂い（におい）でしょう
 これは
 春の匂い
 真新しい着地の匂い
 真新しいかわの匂い
 新しいものの
 新しい匂い
 匂いのなかに
 希望も ゆめも 幸福も
 うつとりと
 うかんでいるようです
 ごったがえす
 人いきれのなかで
 だけどちよっぴり
 気がかりです
 心の支度はどうでしょう
 もうできましたか



支度（したく）

黒田三郎

卒業・進級のこの時期、次の目標のために様々な準備が必要でしょう。最も大切なのは、皆さんの心の準備ではないでしょうか。あとわずかでず。...



東日本大震災発災から11年となる3月11日（金）に、哀悼の意を表し、全児童で黙祷を捧げました。私たちは震災を忘れることなく、未来に向かって歩いていかななくてはなりません。来月には熊本地震から6年を迎えます。復興道半ばの中、強く生きていくことの大切さを感じました。

贈る言葉

荒尾市立中央小学校長
山口 公敏

100名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校生活へ向けて、夢と希望に満ちあふれていることと思います。ここで、卒業生の皆さんへはなむけの言葉を贈ります。

一 常に目標を持つ人間であり続けたい

一日一日をただ何となく過ごす日もあります。しかし、そんな日はそう長くは続きません。節目を通しながら、次の目標を自己設定し、目標に向かって頑張ることの方が、やりがいがあると思います。時々負けそうな時は、少し休んでまた目標に向かって挑戦してみてください。中学校では、部活もあります。友だちと一緒にいっぱい汗をかいて、一つのことに熱中してみてください。きっと楽しい学校生活が待っています。

二 努力の上に花が咲く

わたしの座右の銘です。自分自身物事を精一杯やり通すことで自分なりの花を咲かせることができます。精一杯やり遂げないと充実したとは言えません。ただ、自分自身のがんばりだけに目が向きがちなので、一つ、相田みつをさんの「根」という詩を紹介します。

「 花を支える枝 枝を支える茎 茎を支える根

根は見えねんだなあ 」

この詩を読んだある高校生は、自分はいつも花を追っかけてきたが、見えない部分を多くの人に支えてきてもらったんだなあ、と気づいたと語っています。日頃から感謝の気持ちを忘れずにとよく言いますが、妙にこの詩が心から離れません。精一杯努力し、大きな花を咲かせた後に、この詩を思い出してみてください。

保護者の皆様、1年間学校の教育活動に対してご支援ご協力、大変ありがとうございました。次年度も子ども達のために一生懸命全職員で取り組んで参ります。